



浮遊アスベスト蛍光染色試薬キット

アスベスター AIR シリーズ

解体現場や被災地での瓦礫処理によるアスベスト被害を防ぐためには、大気中の飛散アスベストを迅速に検出することが重要です。現場での漏洩監視方法として位相差蛍光顕微鏡法に加えて、可搬型蛍光顕微鏡法が新しく環境省マニュアルに採用されました※。本製品は検査実施に必要な試薬キットです。

迅速・低コスト

高感度



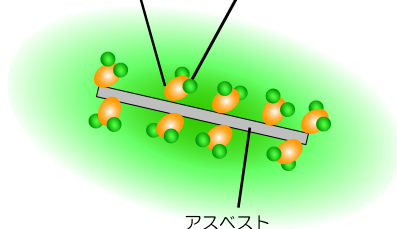
※環境省『アスベストモニタリングマニュアル 第4.2版』掲載

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| アスベスター AIR1 (クリソタイル検出専用) 10テスト用 | ¥36,000 (品番:S.001-0510) |
| アスベスター AIR2 (アスベスト全6種検出) 10テスト用 | ¥42,000 (品番:S.001-2510) |

検出原理

アスベスト蛍光検出試薬

アスベスト結合タンパク質
蛍光分子



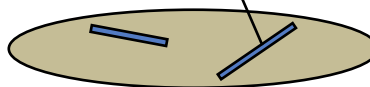
アスベスト

蛍光ラベルしたアスベスト結合タンパク質がアスベスト繊維の表面に並び、蛍光顕微鏡下でアスベストが光って見えます。

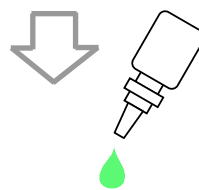
使用方法

※検査には蛍光顕微鏡が必要です。弊社ではアスベスター-AIRに最適な推奨顕微鏡を取り扱っています(下図)。

アスベスト



大気を捕集したフィルター



蛍光で修飾したタンパク質溶液を数滴滴下



蛍光顕微鏡により観察



位相差・蛍光顕微鏡システム
(アスベスト測定用特別仕様モデル)



携帯型蛍光顕微鏡 (iFM)

従来の位相差顕微鏡法では、形状しか確認できないため繊維種の判定ができません。蛍光顕微鏡法では、アスベストだけを光らせることにより、様々な物質が浮遊する環境中でよりの確なアスベスト計測が可能となります。